

令和5年度  
事業報告書

第 8 期

自：令和5年4月 1日

至：令和6年3月31日

一般社団法人まちづくり伊達

## 1 事業概要

当社は、「伊達地域まちづくり活性化事業」を伊達市から受託し、地域の活性化を目指し地域資源を活用した新たなまちづくり事業を官民連携により行ってきた。

平成29年6月には「まちの駅」として認定を受け、地域の交流拠点、憩いの場となっている。また、情報発信や旧伊達公民館跡地の利用、地域の活動団体との連携や商店街との連携協力により下記の4項目を事業の柱として社団目的達成のために活動してきた。

- 1 まちなか活性化推進事業
- 2 まちなか原っぱ推進事業
- 3 伊達駅なかプラザ管理運営事業
- 4 まちなか再生・活性化調査研究事業

## 2 理事会等の開催

### (1) 理事会

○第1回（第20回）理事会 令和5年6月5日開催

報告第1号 重要事項及び業務報告について

議案第1号 一般社団法人まちづくり伊達令和5年度入会金及び会費について

議案第2号 一般社団法人まちづくり伊達新規会員の承認について

議案第3号 一般社団法人まちづくり伊達会員の退会の承認について

議案第4号 一般社団法人まちづくり伊達理事候補者の選任について

議案第5号 一般社団法人まちづくり伊達監事候補者の選任について

議案第6号 一般社団法人まちづくり伊達役員報酬について

議案第7号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度事業報告の承認について

議案第8号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度収支決算報告の承認について

議案第9号 令和5年度通常総会の日時及び場所並びに付議案件について

○第2回（第21回）理事会 令和5年6月20日開催

議案第10号 一般社団法人まちづくり伊達代表理事の選任について

議案第11号 一般社団法人まちづくり伊達専務理事の選任について

○第3回（第22回）臨時理事会 令和5年9月1日開催

報告第2号 重要事項及び業務報告について

議案第12号 まちの駅まちづくり伊達の令和6年度以降の運営について

議案第13号 （仮称）多世代交流施設の運営について

○第4回（第23回）理事会 令和6年3月15日開催

報告第3号 重要事項及び業務報告について

議案第14号 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

議案第15号 一般社団法人まちづくり伊達の主たる事務所の移転について

(2) 決算監査 令和5年5月23日開催

(3) 通常総会 令和5年6月20日開催

報告第1号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度事業報告について

報告第2号 一般社団法人まちづくり伊達令和5年度事業計画及び収支予算について

議案第1号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度収支決算報告の承認について

議案第2号 一般社団法人まちづくり伊達令和5年度入会金及び会費について

議案第3号 一般社団法人まちづくり伊達令和5年度役員報酬について

議案第4号 一般社団法人まちづくり伊達理事の選任について

議案第5号 一般社団法人まちづくり伊達監事の選任について

### 3 まちなか活性化推進事業

#### (1) 商店街に人の動きをつくる新たなまちづくり事業の実施

##### ①起業者等への支援

まちなかカフェ「ふらっと」を利用する起業希望者へ調理場や客席を提供し、営業活動を通しての課題点などを明らかにしてもらい、起業に導いてきた。

今年度は月舘町産の小麦粉“きぬあづま”を使った焼き菓子や料理教室を考えている小麦工房 La Luna が試験的に営業を行ったが、継続的な営業にはつながらなかった。

#### (2) 「まちの駅」管理及び運営事業（空き店舗活用）

##### ①まちの駅の開設

平成29年5月に空き店舗を賃借し、6月18日に全国まちの駅連絡協議会の認定を得て、市民が楽しみ、会話し、休憩できる場所、情報の発信を行う場を開設した。ここでは、卓球台等を設置し親子や子どもたちが放課後の居場所として利用されている。特に、夏休み等の長期休業時の子どもたちの利用が多くなっている。

右城25-1の賃貸物件は多世代交流施設の建設に伴い、3月30日に退去し不動産会社に返却した。

##### ②まちなか図書館の設置

市立図書館の「伊達文庫」や、市民から提供を受けた書籍やコミック本などを蔵書して、市民の希望により貸し出しをしている。

##### ③地域団体への集会場所として提供

町内会や高齢者団体、福祉団体、農業者関係団体などに役員会や総会、打ち合わせ等の利用に無料で貸出しを行った。

##### ④まちの駅としての情報発信

まちの駅の情報基地として各種の情報収集に努め、行政情報や各種フリーペーパー等を備えて提供している。また、「まちの駅 まちづくり伊達」の事業内容を広く市民に知っていただくために、伊達町中央商店会が発行する感謝市チラシの裏面を活用し、イベント情報を発信している。

##### ⑤ホームページ等による情報発信

ホームページ (<https://machidukuridate.com/>)、インスタグラムにより、イベント情報、まちなか情報などを発信している。また、地域内の関連団体等の紹介も掲載している。

#### ⑥ハンドメイドレンタルボックスの設置

「ハンドメイドレンタルボックス」を設置し、市内のハンドメイド制作者6名の作品の委託販売をしている。出店者からは、レンタルボックスの使用料と10%の販売手数料を頂戴している。



#### ⑦おすそ分け市場の開設

朝採り新鮮野菜等を地域の皆様に提供し、商店街に足を運んで頂くような仕組みで行っていて、新鮮野菜を求め来所することも多くなっている。出荷者から10%の販売手数料を頂戴している。



#### ⑧手作りパンの委託販売

手づくりパン事業者の商品をまちの駅で委託販売している。納品日は、火曜日と土曜日で、食パンやフルーツブレッド、あんぱん、焼き菓子等を主に販売している。委託者から5%の販売手数料を頂戴している。

#### ⑨まちの駅2階スペースの活用

まちの駅2階の住居スペースを活用しヨガやベビーマッサージ、不登校の子を持つ親のためのお話会“ココカラ”などを開催する個人に貸し出しを行った。今年度は移転に伴い団体への貸し出しは12月末で終了した。

#### ⑩公的事業への参画と協力推進

「伊達市プレミアム応援券」の販売所及び取扱店となり、地域経済の活性化に寄与した。社団ではプレミアム応援券の販売を9月26日～10月17日まで行い3,628セットを販売した。

#### ⑪まちなかタクシーの利用促進

タクシーチケットの販売所となったことで、商工会まで行かなくても購入できると市民に好評となっている。

#### ⑫レンタサイクルの貸し出し

伊達市のレンタサイクル事業が4月から11月末までの期間に24人に自転車の貸し出しを行った。また、8月19日から11月30日までの約3か月間、サイクリングアプリ「ツール・ド」を使った“伊達ぐるっとサイクリングキャンペーン”に協力した。社団の取扱件数は18人であった。

### (3) 商店街イベント事業の実施と支援

#### ①商店街感謝市事業の支援

- ・伊達町中央商店会が偶数月15日に行う感謝市について、中央商店会発行の広告チラシにイベント開催の記事を掲載し感謝市を盛り上げた。奇数月は独自にチラシを発行してスタンプラリーを実施し、商店街への来客を促した。
- ・スタンプラリーの参加店は年間8～12店舗で実施し、年間のお買物券交付枚数は604枚となり、次回来店での上増に寄与していると考えられる。

#### ②端午の節句事業の実施

5月6日に各店舗による柏餅プレゼントによる集客事業は10店舗で実施し、スタンプラリーの買物券を37枚交付した。また、まちの駅及び商店街の各店舗に伊達認定こども園と伏黒幼稚園の園児の「こいのぼり塗り絵」を4月25日から5月15日までの期間展示

するとともに、佐藤青果店で福引きを松葉屋ではお菓子すくい、芝生広場ではシャボン玉遊び、まちの駅ではスーパーボールすくいなどを行い、商店街全体で縁日を行うことで商店街に足を運ぶ仕掛けづくりを行った。



#### ③ちびっこ夏まつりイベントの実施

長岡天王祭の開催に合わせ、7月24日にまちの駅内で開催したが、平日だったことや酷暑のためか人出が芳しくなく成功とはならなかった。だが、21時まで休憩所として店を開放したところ大勢の来店があり、売り上げに貢献できた。

#### ④「街なか音楽会」すまいる みゅーじっくミニコンサートの支援

10月8日日曜日にイベント広場で、地元のアマチュアミュージシャンなど5組がコンサートを企画開催した。社団はチラシ等の制作や準備等で支援した。

#### ⑤伊達町マルシェうまいものフェアの支援

伊達町マルシェ実行委員会と伊達町中央商店会、当社団が共催で“伊達町マルシェうまいものフェア”を10月22日にイベント広場を中心に飲食店の特製弁当販売が5店舗、キッチンカー1台、手作り作家のワークショップ5店舗、ミニ縁日を聖光学院の協力で実施した。イベント告知は新聞折り込みとインスタグラムや作家さんのネットワークを利用したPRにより、多くの家族連れなどの来場者が見られた。商店街の回遊を図るためにスタンプラリーを9店舗で取り組み、28枚の買物券を交付した。



#### ⑥イルミネーションの点灯

まちなかイベント広場と伊達駅前へのイルミネーション点灯を11月27日から1月15日まで実施した。天王通りの賑わいづくりと市の玄関口の駅前の賑わいづくりに貢献し、伊達地域の冬の名物として地域に定着している。



#### ⑦年末年始の天王初市事業の実施と支援

天王通り商店街の年末年始の売り出し事業に参画し商店街事業を支援した。天王通り商店街の参加店において、買い物金額に応じて富くじを配布し、参加店で利用できるお買物券3000円分を20人に、2000円分を30人に、1000円分を100人分用意し当選した人に交付した。また、参加店からの協賛品を詰めた福袋を10個販売し商店街の繁栄を期した。

#### ⑧ひな祭り事業の実施

3月2日に事業参加11店舗がおすすめ商品やお買い得商品を用意して、お客様に日頃の感謝を込めて桜餅をプレゼントした。また、まちの駅では5組の作家さんによるワークショップを行い、こども達が熱心に作品を仕上げている。

#### ⑨マルシェの実施

伊達地方の青年農業者グループと聖光学院がコラボした“DATE&SEIKO MARCHE”を毎月第3金曜日の午後4時からまちの駅で開催した。このマルシェに出品する農産物等の集荷をはじめ運営は一般社団法人だてものが協力している。

#### 4 まちなか原っぱ事業推進事業

##### (1) 多世代交流施設の運営等準備業務

###### ①運営体制・運営方法等の検討

伊達市は、令和6年度の管理運営について現在のまちなかの駅の機能を多世代交流施設に移すことと、今までのソフト事業の実績から一般社団法人まちづくり伊達を運営主体考え、業務委託方式で行うことに決定した。飲食の提供については、令和5年9月1日開催の臨時理事会において、詳細な審議を行い、運営体制等について今までの経過等も踏まえて市役所やカフェ経験者等との協議を重ねた結果、グローバルラブ株式会社 代表取締役 山田 愛に決定した。

また、営業を開始するにあたり、3月27日付けで飲食店営業（福島県指令北保第1-220号）が許可され、設備を設けて飲食させる営業と仕出し屋、弁当屋、そうざい調理ができ、また、菓子製造業（福島県指令北保第1-221号）の許可も取得した。

###### ②伊達公民館跡地利用検討委員会への参画

当初、令和3年度建設であったが、令和3年5月に長岡町内会他2団体から市長と議会に要望書・陳情書が提出された。同年11月24日に「伊達公民館跡地利活用検討委員会」が設置されて、令和5年11月30日までの期間に7回の検討委員会が開催され、建物の機能や規模等について地域からの意見等を踏まえて考えをまとめた。

建物の概要は、平屋建て、建築延床面積157.33㎡のうちホール面積83.21㎡、キッチン面積26.49㎡、ミーティング室12.83㎡となっている。築主体工事は佐藤建設株式会社、電気設備工事は福陽電設工業株式会社、機械設備工事は有限会社佐藤設備の施工業者が決定し、令和6年2月29日までの工期で工事がおこなわれた。

##### (2) まちなかカフェ「ふらっと」の運営と事業者支援

###### ①まちなかカフェ「ふらっと」で営業する起業希望者の支援

まちなかカフェ「ふらっと」では、社団は場所や機材を貸し、経営は参加者の責任で行っていただいた。

《“ふらっと”の営業状況》

○火曜日・水曜日 弁当のテイクアウト

○金曜日・土曜日 サンドウィッチ・スイーツ（※毎月第一金土は休業）

カフェ運営希望者の小麦工房La Lunaが試験的に7月27日から数日営業を行ったが、常設での営業にはならなかった。

##### (3) まちなか原っぱ広場管理運営業務

伊達公民館跡を芝生化し、子ども同士や家族など多数の方が広場を利用していた。芝生の管理のために肥料散布や雑草除去作業を行った。また、子どものボール遊びによって板塀が破損した個所の修繕を随時行った。

原っぱに手洗い場や仮設トイレをレンタルにより設置し、原っぱ利用者の利便に供したが、多世代交流施設建設の外構工事のために1月31日でレンタルトイレを返却した。

## 5 伊達駅なかプラザ管理運営事業

### (1) JR伊達駅「駅なかプラザ」の管理運営

伊達市の玄関口そして情報発信拠点として、JR伊達駅構内の駅なかプラザの管理運営を伊達市から受託した。駅なかプラザ直売所代表と管理運営に関する契約を取り交わし、負担区分等を明確にして行った。しかし、諸般の事情により12月24日で営業を終了した。

令和6年度の運営事業者を選定するために、1月22日から2月29日まで募集した結果、2者の申し込みがあった。しかし、JR東日本から物販行為に対して契約上の疑義があるとして運営者の決定には至らなかった。

### (2) コワーキングスペース・情報発信

来訪者のための観光案内はじめ地元製品の紹介や農産物等の販売など市の情報発信を行った。年間利用者数は、ワークボックス利用者2名、観光案内34名、地域特産品の案内70名、地域情報の案内175名となった。

## 6 まちなか再生・活性化調査研究事業

### (1) 伊達地域のまちなか再生、活性化に関するまちづくり事業

だて桜回遊事業2023の実施

地域の桜名所を徒歩で巡り健幸な生活を目指し、まちの再発見をする事業で58名の参加があり参加者全員に商店街で使える買物券を進呈した。

### (2) 伊達市減塩推進応援店に登録

伊達市が進めている減塩運動に参加し「伊達市減塩推進応援店」として、生活習慣病の予防と健康寿命を延ばすために、野菜を食べることの重要性を記したチラシやのぼりを掲げている。毎月17日の減塩の日にはポケットティッシュなどを配布して運動を推進した。

## 7 その他

多世代交流施設への移転に伴い、不要となるテーブルや棚、イス、ファンヒーターなどを市民に無償もしくは格安で譲渡しました。申込期間を12月15日から1月31日までとしたところ多数の申し込みがあり抽選となった。ピアノについては結構な搬出処分料金が生じることになったため、インスタで引き取り手を募集したところ保原町の飲食店に決まった。

賃貸物件については、建物本体にキッチンはじめカフェふらっとや下屋等の造作を行った部分は、所有者である不動産会社と協議した結果、現状での返却となりました。看板の文字消しや大型機器等の移設はそれぞれ専門業者に依頼して引っ越し作業を終えた。